

1月24日

ニユーラージャズコンサート



上士幌町芸術鑑賞会主催による「ニユーラージャズコンサート」が山村開発センターで開催されました。

帯広を拠点に活動する「TAKE(テイク)3」のみなさんが出演し、来場したおよそ100名の方々に「自由に楽しんで…」と呼びかけながら、ジャズのスタンダード・ナンバーである「ジャスト・イン・タイム」や映画「ティファニーで朝食を」の主題歌「ムーン・リバー」などを演奏しました。



32回目を迎えた「子ども冬まつり」に今年も多くの子どもたちが集まりました。雪不足のため種目を一部変更しての開催となりましたが、十勝ナイタイ和牛や豚丼の無料提供や抽選会などもあり、おなかいっぱい楽しい日を過ごしました。チューイー取引ゲームでは、東西に分かれて元気にチューイーを奪い合いました。

第32回子ども冬まつり



寒さに負けず力走、町民スケート大会

第52回町民スケート大会が町民スケートリンクで開催されました。当日は冷たい風が強く吹くコンディションでしたが、応援席からの熱の入った応援を背に受けながら、児童から大人までの計66名の参加者がリンクを力走しました。

1月25日

北居辺小学校で冬の運動会



北居辺小学校で恒例の冬季運動会が開催されました。

今年も児童・保護者・教職員によるスケート競争や親子カーリング、ポール運びリレーなどが行われ、競技終了後には記念の熱気球係留も行われました。

会場には「頑張れ！」という声援や笑い声が絶えずござまし、楽しい1日となりました。



1月30日



1・2月の まちのわだい

「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。

企画財政課情報交流担当 ☎ 2-2111 内線 265 または E-Mail ✉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

「べびま」と布でふんわり遊び
ベビーマッサージインストラクターの近藤香織さんを招いての子育て講座「べびまと布でふんわり遊び」(子育て支援センター主催)がふれあいプラザで開催され、1歳6ヶ月までのお子さんと保護者15組が参加しました。

「べびま」とはベビーマッサージを略したもので、おへその周りに円を描いたり、足を手のひらで優しく撫でることで、赤ちゃんの気持をリラックスさせたり、ママの愛情を深める効果があります。

2月6日

第52回町民スケート大会・各部門1位結果					
部門	名前(学校)	タイム			
一年男子	細木 琉可(上士幌)	250m	50.17	500m	99.24
一年女子	齊藤 寧々(上士幌)	250m	44.11	500m	87.70
二年男子	石川 詩月(萩ヶ岡)	250m	35.43	500m	66.63
二年女子	岡田 彩音(上士幌)	250m	36.96	500m	73.24
三年男子	関 日和(萩ヶ岡)	500m	78.76	1000m	2:54.59
三年女子	杉山 詩歩(上士幌)	500m	63.57	1000m	2:53.81
四年男子	齊藤 善(上士幌)	500m	52.26	1000m	1:57.01
四年女子	泉田 真愛(北門)	500m	56.26	1000m	2:02.50
五年男子	細木 奏汰(上士幌)	500m	77.01	1500m	4:12.33
五年女子	石川 玲衣(萩ヶ岡)	500m	52.96	1000m	1:53.91
六年男子	折笠 竜馬(上士幌)	500m	50.70	1500m	2:40.91
六年女子	石川 寧々(萩ヶ岡)	500m	49.79	1000m	1:41.33
幼児男女 50m	(男子)森田 新弥 タイム:11.63 (女子)森田 晴水 タイム:12.72				
小学生 100m	福澤 悠希(北居辺)	タイム:128.52			
中学・一般 250m	有坂 京祐(上中)	タイム:26.31			
小学生 2000m リレー	上士幌少年団B(齊藤琴美・泉田深愛・渡邊夏鈴・石川寧々) タイム 3:29.29 (女子チームの大会新)				
一般 800m リレー	アーリーズ(内田裕太・石川幸治・仁王頭香織・有坂京祐) タイム 1:28.63				

※大会新

弘さん、河田洋子さん、渡辺瑞世さん、坂田恵美子さん、邊見登志雄さんが受賞されました。

その他、社会福祉施設関係業務従事者として野口貴長(竹中町長)より伝達を受けました。



民生委員児童委員従事10年以上、または社会福祉施設関係業務従事15年以上で功績のある方に贈られるもので、「この日は7名を代表して小林広子さん(民生委員・児童委員)と賀陽龍司さん(上士幌福寿協会施設)が竹中町長より表彰を受けました。

社会福祉関係功労者で7名を表彰

社会福祉関係功労者に選ばれた7名が、十勝総合振興局長より表彰を受けました。

最後は、絵本「あなたはたいせつなだからもの」の読み聞かせが行われ、親子で優しい時間を過ごすことができました。

では、柔らかい布を顔にかけたり外したりして、赤ちゃんはとても気持ちよさそうでした。

また布を使つたふんわり遊びができます。



野村恵子さんに知事表彰
野村恵子さん(3の1区)がこのほど、北海道善行賞(交通安全実践者)を受賞しました。

野村さんは平成7年より交通安全指導員として活動され、地域住民の交通事故防止や交通安全意識の高揚に尽力されています。

2月18日



男子五千mで予選28位の結果だった杉山君は「決勝には行けなかつたけど力は出しきれた」、女子五百m決勝で7位に入った嶋木さんは「2回目の全国なので、昨年より緊張しませんでした」、同15位の森田さんは「次は五百m、千mの2種目で頑張りたい」と大会を振り返っていました。

2月17日

全国スケート大会への出場を報告

2月1日～4日まで長野県工ムウエーブで行われた「第34回全国中学校スケート大会」に出場した上士幌中学校2年の杉山恭一君、嶋木樹さん、森田恵水さんの3名が、出場報告のため竹中町長を表敬訪問しました。

地域を変えてく新しい力 地域おこし協力隊活動報告

TITLE: 「地産地消」と「馬頭さん」

記: 地域振興推進員 井上 智彦



町民のみなさん、お久しぶりです。

今年は年明け早々、置戸町の食アドバイザー・佐々木十美さんをお招きして、「子どもの食を育てる」と題した地産地消推進講演会＆料理教室に関わりました。佐々木さんは、子どもたちに安全・安心な給食を食べさせたいという思いから、出所がはっきりしていて、旬のものをすぐに使える地元の農産物を積極的に使うことで、給食で地産地消を実現しました。そんな佐々木さんの給食哲学とノウハウに大いに啓発され、給食に限らず、ぜひこの町で地産地消を進めたいという思いを強くしました。そもそも「地産地消」とは、自分たちの町の主要産業である「農業」に関心を持ち、その成果である農産物に自信を持つことにつながるわけで、それこそが本来の目的と思っています。

その意味で、ボランティア活動で参加している「地域の宝がしの会」も、その目的は実は同じ。昨年秋にこの会で行った「上士幌の馬頭さん」の調査は、この町を開拓し、この町で暮らして来た人たちへの敬意とともに、町の成り立ちを知ることでこの町に対する自信を深めることにつながるもの信じています。



▲地産地消推進講演会



▲「上士幌の馬頭さん」の調査

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲熱演の3年生

1月31日(金)に上士幌高校で予饌会が行われました。この予饌会は、卒業する3年生に在校生が最後の「ありがとう」を伝えるために劇や合唱をするというものでした。

今回のテーマは「GOING MY WAY～それぞれの道へ～」で、体育館の装飾も3年生がそれぞれの道へ飛び立っていく姿をイメージして作成されました。

去年までは劇だけでしたが、今年は劇以外も許可され、スライドショーで感謝の気持ちを示すなど、去年よりもクオリ

ティーが向上しました。また今年も先生方による劇団ミラクルが「泣いた赤鬼」を演じ、3年生にエールを送りました。

生徒会長の宮部綾香さん(2B)は、「今回は装飾などに時間が少しかかったが、3年生に喜んでもらえ、中には涙を流してくれた人もいたので成功したと思う。来年はもっと一人ひとりが3年生に感謝の気持ちを伝えられるようにしていきたい」と来年の意気込みを話してくれた。

1月
31日
金

最後の「ありがとう」を

文責 岩間 輝

平成26年 1月末現在の人口

男 2,433人(-7) 人口 4,995人(-10)
女 2,562人(-3) 世帯数 2,336世帯(-2)

寄付

ーふるさと納税ー(敬称略)

- ▶ 1万円…木下文子(愛知)、加瀬良子(京都)、加瀬年男(京都)、石黒日和(新潟)、村上健太郎(東京)、水野美栄子(愛知)山中仁(北海道)、清水隆人(福岡)、鳥羽民子(長野)、加藤芳正(愛知)、挙勉(東京)、澤田光昭(愛知)、水村尚年(愛知)、福井仁(秋田)、太田浩司(兵庫)、山下素(北海道)、西村政徳(福島)
- ▶ 2万円…近藤三郎(愛知)、金子昇(埼玉)
- ▶ 5万円…川島源太郎(千葉県)

※広報掲載希望者のみを掲載しています

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。

川柳

習いたてへたでもうまい手打ちそば
雪とけて草木の芽生え春を告げ
おかあさん送り迎えをありがとう
春がきて上着を一枚脱ぎ捨てる
ひなまつり歳重ねても待ちわびる
歩き出す不安と希望の卒業式
五輪よりフクシマ復興今でしよう
雪原のリスのスキップ癒されて
子の巣立ち母は静かな海でいる

十勝野の寒さつのりし今朝の空緑のバルーンゆつたりと浮く
大学の入試に挑む孫のこと思いつつ行く新雪踏みて
得るなしの通いたる日日耳遠く家族との生活しきり思うなり
寒い日の行きがてぬをリストーブの目盛りあげて夫思いをり
最終の同級生たり死亡欄汝が名みつけし朝を瞑つむる
やはり年はごまかしならざいささかの除雪に息をきらしてゐたる

短歌

白坂 桜 小 齋 米 高 米 鈴	本 高 石
石田 池 藤 森 木 森 木	間 木 川
い 花 敦 博 誠 真	栄 慶 裕
馨 絵 子 樹 也 弓 豊	風 子



- 2月6日放送の日本テレビ「得する人損する人」で本町のふるさと納税の取り組みが紹介されました。
- 翌日は役場の電話が鳴り止まないほどの大反響でしたが、27日にも第2弾が放送予定です。ぜひご覧ください。(全国放送のゴルデン恐るべし、です……Y)
- 冬季オリンピックに世界中が沸いた2月。本町の雪の量も増え、「結局、毎年同じくらいの積雪になるんだね」などの声も聞こえています。● スケートやスキーに頑張る子どもたちを見て、思わず、取材をしていても力が入りります。(我が子たちはテレビを見ながら、スキージャンプのマネをしています……K)